

# 柳家花緑氏 特別講演会

読み書き困難でも、自分らしく生きる



最年少で真打となり、歯切れのよい語り口が人気の花緑さんは落語だけでなく舞台の俳優やテレビのナビゲーターとしても活躍中です。

また、「花緑の幸せ入門」でご自身がディスレクシアであることを公表しています。NHKや講演会などで啓発にもご尽力をいただいています。

この度は自らの経験をもとに自分らしく生きることのお話と、落語もご披露いただきます。

日時：令和元年8月6日（火） 14:00～16:00

会場：港区ヒューマンぷらざ6階 多目的ホール

定員：240名 参加費：無料

対象：小学校4年生以上の方ならどなたでも

主催：認定NPO法人エッジ

共催：東京杉並ロータリークラブ

後援：港区、港区社会福祉協議会、港区教育委員会、  
杉並区、杉並区教育委員会

お申込み：裏面をご参考ください



## ディスレクシアとは？

読み書きの困難がある状態です。生まれつき音と文字を認識して操作する力が弱いため、読みのスピードが遅く正確さに欠けます。知的には問題がなく、社会性や行動に問題がないと本人の努力不足であると誤解され、評価されないことが多いため、不登校や引きこもりになることがあります。

適切な指導や支援を受けて本来の力を発揮できれば芸術、スポーツ、企業家、教員、リーダー、発明家や職人など幅広い分野で活躍ができます。

## 花緑さんから一言：

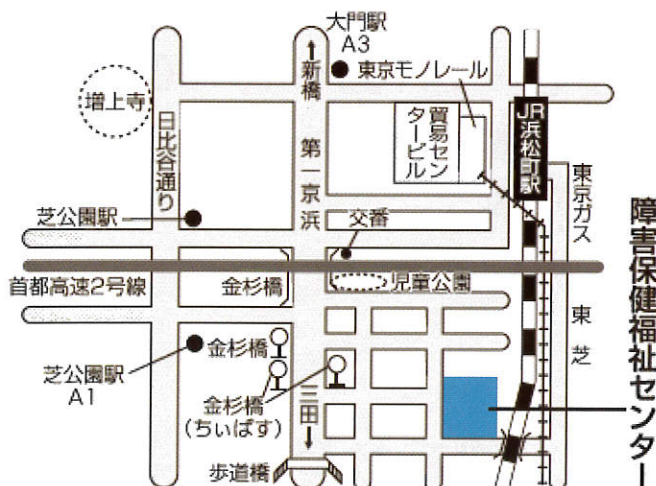
4年前に自分がディスレクシアと分かるまでは自分に自信がありませんでした。小さいころから失敗ばかり重ねていたのが大人になってもびくびくしていたところがあります。幸い落語は口伝なので、師匠が稽古で演じてくれたものを録音し、それを聴いて稽古をしたり、ノートにひらがなだらけで書き写したりして覚えていました。

始めディスレクシアと分かった時は自分も周りも受け入れるのがとても大変でしたが、今では「寄りかかって生きていいんだ。」と思うようになりました。知る勇気というか、わかることで今までとは違う「楽」というか「楽しい」ことにつながっていくなという気がします。楽しい人生が待っていると思うので是非勇気をもって一歩踏み込んでもらいたいと思います。

申込：右記QRコードからお申込みください。

又は氏名（ふりがな）、参加希望人数（お子さんの学年）連絡先（電話番号、メールアドレス、住所）、お申し込み者の属性（ディスレクシア当事者、保護者、支援者、教員、その他）をご記入の上、下記メールアドレスへお申し込みください。

メール：[edgewebinfo@npo-edge.jp](mailto:edgewebinfo@npo-edge.jp)



105-0014 港区芝1-8-23  
障害保健福祉センター  
電話：03-5439-2511  
ファックス：03-5439-2514  
【交通】 駐車場あり  
電車 いずれも徒歩10分  
JR浜松町駅北口  
浅草線・大江戸線大門駅A3  
三田線芝公園駅A1

協力：NPO法人全国LD親の会、SLDガーディアンズ 児童発達支援事務所・ソラル株式会社、ルピナス、NPO法人らんぷあっぷらぎ、発達支援サークル で・こぼ